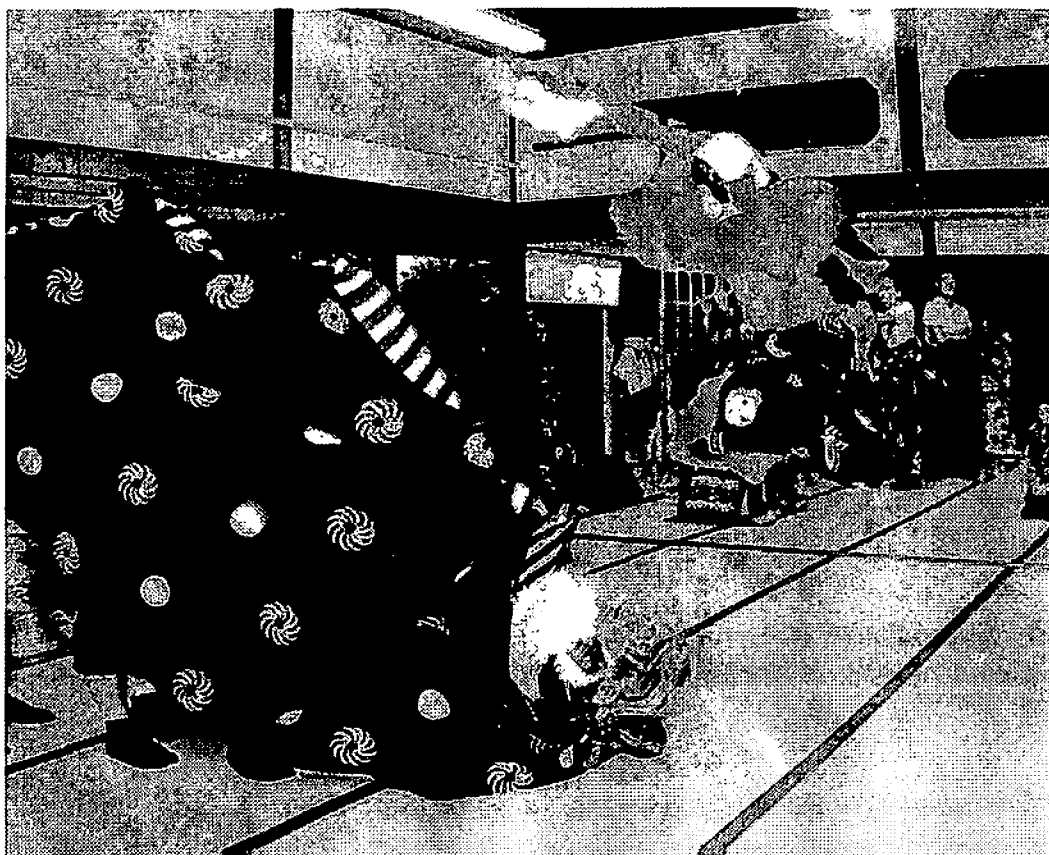


下上津里づくり計画



秋祭り獅子舞

平成14年3月

下上津里づくり協議会

目 次

I	地区の現況と目標	
1	地区の現況	1 ページ
2	地区の問題点及び課題	2
3	計画目標と方針	2
II	里づくり計画	
1	農業振興計画	
(1)	地域の営農	
①	米づくり対策	2
②	新規作物の導入	2～3
③	施設利用による安定経営	3
(2)	集落営農組織の育成	3
(3)	直売所（既存）の設置活用	3～4
(4)	地産・地消運動の展開	4
(5)	担い手の育成確保	4
(6)	農業用水対策	4
2	環境整備計画	
(1)	ごみ対策	4
(2)	防犯・安全対策	5
(3)	犬・猫飼育対策	5
(4)	河川等水質の改善	5
(5)	駐車場の整備活用	5
(6)	地域づくり活動	5
3	土地利用計画	
(1)	農村用途区域の指定	5
(2)	個別的土地利用計画	5
4	景観の保全及び形成に関する計画	
(1)	農村景観	6
(2)	歴史的景観	6
5	計画地区と市街地との交流に関する計画	
(1)	朝市、沿道直売等を通じた交流計画	6
(2)	体験農業、観光農業等を通じた交流計画	6
(3)	文化財等を拠点とした交流	6
	里づくり計画策定経過	7
	下上津里づくり協議会規約	8～10
	【参考資料1】	
	地域における文化財・古墳遺跡・風習・講 等について	11～17
	【参考資料2】	
	下上津里づくりに係る提言及びアンケート調査の分析	

下上津里づくり計画

I 地区の現況と課題

1 地区の現況

- (1) 本地区は、平成10年5月3日に設立（市認定平成10年6月9日）された別図の下上津里づくり協議会（下上津集落）の区域とする。
- (2) 本地区は、神戸リサーチパーク上津台に隣接する市街化調整区域に位置しており、この住宅団地開発に伴って地域が三つに分割され、南部には神戸市立フルーツ・フラワーパークが、北部は、三田市のフラワータウンに隣接しており、上津台においては、今後急速な人口増が見込まれる。
- (3) 道路網として、主要地方道西脇三田線、山田三田線のほか、中国自動車道・六甲北有料道路が通過し、近くに神戸三田インターチェンジがある。
- (4) 最寄りの神戸電鉄三田線の道場駅へは車で7分、横山駅へは5分の位置にあり、市中心部の三ノ宮まで車で40分、公共交通機関として神戸電鉄、神姫バスがある。
- (5) 農家人口（207人）は集落人口（321人）の64.5%、農家戸数（47戸）は総世帯数（79戸）の59%、農家世帯の構成は、専業農家2戸（4%）、第1種兼業農家3戸（6%）、第2種兼業農家42戸（89%）となっている。
- (6) 農業経営は、1戸当たり平均56アールの農地を保有しており、農業機械の保有台数はトラクター38台、耕耘機7台、田植機24台の状況となっている。
- (7) 集落の農業生産についてみると、酒米「山田錦」、うるち米「キヌヒカリ」及びトマト、西瓜等が栽培されているが、水稻作が中心である。

下上津地区の農業の概要（農業センサス等）

	総世帯数 (戸)	総人口 (人)	専業別農家数 (戸)				農家人口 (人)	農業従事世帯員数(男)			農業従事世帯員数(女)		
			総農家数	専業	第1種兼業	第2種兼業		自家農業のみ	自家農業が主で、兼業が従	自家農業が従で、兼業が主	自家農業のみ	自家農業が主で、兼業が従	自家農業が従で、兼業が主
1990年	上津 266	上津 1,396	51	4	9	38	230	9	2	63	48	4	20
1995年	上津 264	上津 1,408	47	4	2	41	213	15	3	51	38	3	3
2000年	下上津 79	下上津 321	47	2	3	42	207	18	4	33	28	2	14

	経営耕地面積 (a)				主要作物別収穫面積 (a)				家畜飼育戸数・頭数			
	合計	田	畑	棚田	稲	野菜	花	飼料作物	乳用牛戸数	牛頭数	肉用牛戸数	牛頭数
1990年	2,836	2,719	109	8	1,795	71	-	10	2	78	-	-
1995年	2,631	2,537	91	3	2,030	44	-	204	2	49	-	-
2000年	2,668	2,660	8	-	1,333	32	-	-	1	49	-	-

2 地区の問題点及び課題

市街化区域に隣接する地域にあって、生産基盤の整備は完了したものの大半が第2種兼業農家で構成され、今後における農地の維持管理と自然豊かな農村の保全・活用が課題となっている。今後は、平成13年8月に実施したアンケート調査結果内容を参考資料として活用するとともに次の課題整理に取り組んでいく。

- (1) 自己完結型農業による農業機械の過剰投資が問題となっており、これの回避のため、集落営農等の組織化
- (2) JA兵庫六甲北神長尾支店の「ふれあい亜俱里」への出荷及び、地元における直売所の設置・検討
- (3) 地域活性化のため、貸農園、観光農園（いも掘り等）の設置・検討
- (4) 熊野神社に係る保存会による獅子舞、神楽の指導等を末代への伝承
- (5) 地域周辺における団地開発及び、道路網の整備等によるごみの不法投棄対策 等々

3 計画目標と方針

子供・若者の考え方に配慮しつつ、集落における生活・生産・自然環境の整備を推進していく。

重点項目として

- ・ きれいな街づくりを目指す
- ・ 集落営農の組織化
- ・ 直売所・市民農園のあり方

キャッチフレーズとしては

「この町が好き、緑と人情味いっぱい下上津」

－豊かな環境で子供と年配者を大切に作る里づくり－

とする。

II 里づくり計画

1 農業振興計画

(1) 地域の営農

① 米づくり対策

当地域の大半は、第2種兼業農家で構成され、主に水稻栽培（山田錦、キヌヒカリ）を中心とした農業が営まれており、今後も同傾向が続くものと思われるので、さらに美味しい米づくりを目指し、栽培講習会等を通じて地域の特産米づくりに取り組んでいく。また、水稻湛水直播栽培について調査研究していく。

② 新規作物の導入

平成13年度の転作率が44.3%と高く、その対応に苦慮しており、主流の地力増進作物のソルガム及び、従来からのトマト、ナス、キュウリ等の栽培に加え、地域の特色ある栽培品目を検討する。

例示として、大豆・ソバ・イチゴ・サツマイモ・スイカ等を栽培し、観光イチゴ・スイカ狩り、いも掘り等による地域の活性化を検討する。

③ 施設利用による安定経営

レンタルハウスの活用により周年生産体制を確立し、JA兵庫六甲北神長尾支店の「ふれあい亜俱里」への出店及び、地元直売所の設置を検討して、経営の安定化を目指していく。

(2) 集落営農組織の育成

里づくり計画の策定に際して、平成13年8月に実施したアンケート調査結果によると、今後、5年間は農業を続けられるが、10年後はもうどうなっているのかはわからないという意見が出ている。これは、兼業化の進行にともない農業に従事する人に高齢者が多く、後継者がいないということが考えられアンケートの回答者の約半数は、営農部会の必要性を望んでいる。

このため、営農部会の組織化について協議を重ね地域の将来のあり方を検討していく。

※ 5年～10年先を見据えた取り組みを

- ・ 農作業の委託希望調査
- ・ 農業機械の所有状況調査（機種，馬力，購入・更新時期等）
- ・ 農業機械の共同化
- ・ 職業運転者を核としたオペレーターの確保・育成
- ・ JAカントリーエレベーターの活用

.....アンケート調査結果(並).....

① 5年後の農業について

現状維持は可能である（22戸・52.4%），現状維持は現在のままでは不可能である（7戸・16.7%），わからない（11戸・26.2%）

② 10年後の農業について

現状維持は可能である（12戸・28.6%），現状維持は現在のままでは不可能である（10戸・23.8%），わからない（18戸・42.9%）

③ 営農部会をつくることについて

必要である（19戸・45.2%），必要でない（8戸・19.0%），わからない（13戸・31.0%）

④ 営農部会に作業を委託するかについて

委託する（10戸・23.8%），発足しても自分で農作業を行う（7戸・16.7%），わからない（16戸・38.1%）

⑤ 営農部会について話し合うことについて

必要である（16戸・38.1%），必要でない（6戸・14.3%），わからない（12戸・28.6%）

(3) 直売所（既存）の設置活用

平成13年7月にオープンしたJA兵庫六甲北神長尾支店の「ふれあい亜俱里」への出店強化とあわせ、定年退職者を中心に老人会・婦人会の協力を得て、

集客可能な近隣団地周辺での設置及び生産・出荷体制を検討し、地域の活性化を目指す。このため、生産品目（野菜・花卉・果樹・雑穀・加工品等）について検討する。

(4) 地産・地消運動の展開

地場農産物は、何よりも安心・新鮮であるため、地域内の申し合わせによって地産・地消運動を推進し、将来的には、近隣団地へも拡大して地域の活性化を目指す。このため、栽培戸数・品目・面積調査を実施していく。

(5) 担い手の育成確保

減反政策の長期化、米価の低迷、輸入野菜による低価格化等によって兼業化が進行している。今後は、集落営農・観光農業等を検討し、地域に根ざした対策を樹立する。

.....アンケート調査結果(※).....

家の後継者はいるが、農業の後継者がいないとの意見がある。

① 平成9年8月のアンケート調査では	人	(%)
・ あとつぎがいて、農業のみに従事	⇒ 0	—
・ あとつぎがいて、農業を主に従事	⇒ 2	3.1
・ あとつぎがいて、農業にも従事	⇒ 9	14.0
・ あとつぎがいて、将来農業に従事	⇒ 9	14.0
・ あとつぎがいて、将来も農業従事の予定なし	⇒ 8	12.5
・ あとつぎがいて、未成年のため農業従事は未定	⇒ 13	20.3
・ あとつぎがいない	⇒ 9	14.1
・ 不明	⇒ 14	21.9
② 平成13年8月のアンケート調査では		
・ 後継者がいる	⇒ 48	
・ 後継者がいない	⇒ 34	
・ いることはいるがまだわからない	⇒ 5	

(6) 農業用水対策

現状の営農形態においては、農業用水の不足は生じていないが、今後、野菜等の栽培が増加することによる農業用水不足が懸念されるので、将来に向けての対応策を検討していく。

2 環境整備計画

(1) ごみ対策

地域周辺における開発による人口の増加・道路網の整備及び、ごみ処理の有料化によって、農地等への粗大ごみ等の不法投棄が増える傾向にあり、生産・自然環境の悪化が懸念されるので、不法投棄場所周辺への「不法投棄禁止」看板の設置を検討するとともに、ごみの減量化への配慮と生ごみの自家発酵処理（生ごみ処理器）による農地への還元策を推進する。

(2) 防犯・安全対策

地域の一部において、通学・通勤するうえで危険を伴う箇所があるので、関係機関に対し、防犯灯・カーブミラー・ガードレールの設置を要請していく。

(3) 犬・猫飼育対策

飼育マナーの乱れから、公道・農道・農地の法面、畦畔においてふん公害が起りつつあるので、各人が自覚をもった飼育を徹底するため、必要に応じて看板等を設置し、地域の自然・生活環境の改善を図っていく。

(4) 河川等水質の改善

長年待ち望んだ下水道工事は平成11年9月に完成し、平成14年8月には各家庭内への接続工事が完了する予定となっている。これによって、河川・農業用水路等の水質がさらに改善されることとなり、以前のトンボ・エビが生息することを期待し、さらに生息に必要な環境づくりを検討していく。

(5) 駐車場の整備活用

地元公会堂西隣の駐車場は、ほ場整備事業によって創設され、地元森林組合の所有となっているが、現況は素造成の状態駐車場以外の利用がしにくい形状となっているので、市民公園としての位置づけを検討し、ゲートポール・駐車場・児童公園等地域の多目的広場として整備・活用していく。

(6) 地域づくり活動

熊野神社の祭礼（獅子舞・神楽・子供神輿）はもとより、自治会・農会・老人会・婦人会を中心とした集落における諸行事を伝承していくとともに、子供会旅行・とんど祭り・町民運動会への参加を通じた活動によって地域の活性化を図っていく。また、高齢者のいきがい対策として、既存のグループによる盆栽・菊づくりをさらに発展させていく。

3 土地利用計画

秩序ある土地利用を計画的に進める。

(1) 農村用途区域の指定

【農業保全区域】 優良農地のまとまりを中心として家屋等を含めて指定している。当面、区域の変更はしない。

【環境保全区域】 里山・ゴルフ場等を主体として指定している。当面、区域の変更はしない。

【特定用途区域】 地域の一部にA区域を指定しており（市立長尾小学校・幼稚園、地域福祉センター等公共施設）当面、区域の変更はしない。

(2) 個別的土地利用計画

① 公共的施設用地

多目的広場 1件 約 1,200㎡

② 活性化のための施設用地

4 景観の保全及び形成に関する計画

(1) 農村景観

- ① 自治会，婦人会，老人会によって地域内道路，河川周辺，農業用水路等のクリーン作戦を展開し，地域の景観を保全していく。
- ② 婦人会によるバス停・公民館・区の連絡所等への花の植栽運動を展開し，地域の優れた良き景観を創造する。
- ③ 熊野神社，管生池，松林寺周辺等可能な場所への植樹及び，農地（畦畔）・法面への草花（レンゲ・ヒマワリ・コスモス等）の栽培を検討する。

(2) 歴史的景観

熊野神社・松林寺・金剛堂等を歴史的文化財として守り，鎮守の森など農村風情のある集落景観を保全していく。

5 計画地区と市街地との交流に関する計画

(1) 朝市，沿道直売等を通じた交流計画

J A兵庫六甲北神長尾支店の直売所「ふれあい亜俱里」の活用とあわせ，あらたな施設の設置を検討し，地域の活性化を図る。

このため，栽培戸数・品目・面積調査を実施していく。

(2) 体験農業，観光農業等を通じた交流計画

都市住民を中心としたたまねぎ・黒大豆・さつまいも等のオーナー制を検討していく。

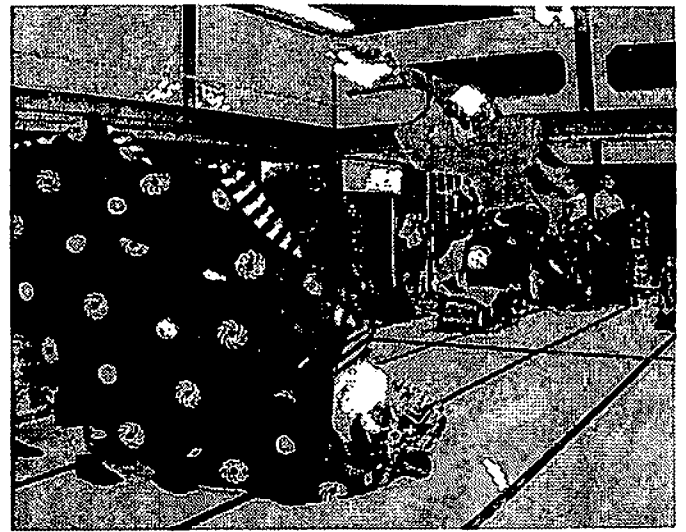
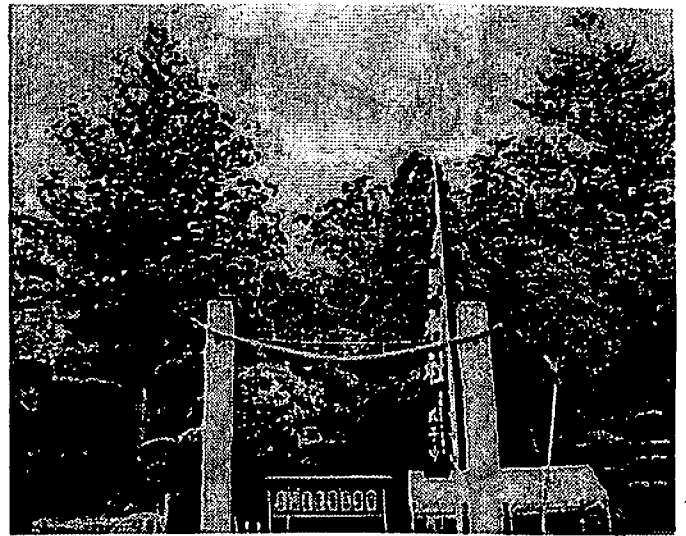
(3) 文化財等を拠点とした交流

近隣の団地自治会等との交流を計画し，相互の行事内容について意見交換し，祭り等諸行事への参加を呼びかけ地域の活性化を検討する。

三田市 下上津里づくり協議会
土地利用計画図



- 凡例
- 下上津里づくり協議会区域
 - 農業保全区域
 - 環境保全区域
 - 特定用途A区域



下上津里づくり計画策定経過

助言者：高橋 信正

年 月 日	実 施 内 容	参 集 者
平成13年6月16日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画策定事前調整会議 共生ゾーン推進状況 里づくり計画策定の進め方 集落の現況 	協議会役員等 14名
平成13年7月12日	<p>高橋教授を迎え里づくり計画策定に向けて活動開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画策定推進調整会議 集落の現状把握のため現地調査を実施 集落座談会の開催 	協議会役員等 36名
平成13年9月2日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画策定推進調整会議 集落の現状、課題の整理 アンケート調査 	協議会役員等 43名
平成13年12月9日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画策定推進調整会議 アンケート集計結果 	協議会役員等 26名
平成14年1月6日	<ul style="list-style-type: none"> 湛水直播栽培の研修 	協議会役員等 30名
平成14年1月13日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画策定役員会 集落営農 里づくり計画の骨子(案) 	協議会役員等 20名
平成14年2月16日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画策定推進調整会議 里づくり計画(案) 	協議会役員等 25名
平成14年3月3日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり協議会総会 里づくり計画の決定 	協議会役員等 50名

参 考 资 料

【参考資料1】

地域における文化財・古墳遺跡・風習・講 等について

長尾百選（1984年・昭和59年）より抜粋

1 熊野神社

鎮座地 神戸市北区長尾町上津字春日谷96番地

祭神 伊邪那岐命 伊邪那美命

氏子 90戸

営造物	本殿	銅板葺神明造	1. 3坪
	社務所	平屋瓦葺	6. 5坪
	幄舎	平屋瓦葺	32. 25坪
	宝庫	平屋瓦葺	3. 0坪
	手水舎		1. 0坪
	鳥居	石材高さ	11. 6尺
		幅	8. 0尺
		柱廻り	3. 3尺

由緒

創立年月不詳にして、天保15年11月（1844）京都吉田神祇道より、熊野灌現玉串神宣啓状を得て再興し、明治6年8月村社に列せられる。

大正14年7月16日、所在地及び神社名

長尾神社を熊野神社に訂正

拝殿、幣殿、神饌所並びに附属建物改築 昭和7年8月7日竣工

大正14年9月11日、神饌幣帛料供進指定神社となる。

神社財産

田 7畝15歩

山林 5反2畝18歩

例祭

10月10日（昭和52年迄は10月17日に執行する。） 今は、体育の日に開催

神楽

この獅子舞は、江戸時代初期より当神社に伝承される神楽で、その昔、大早ばつに見舞われて、田植えができなくなり、困った住民が雨乞ひと、五穀豊穡を祈願して、越後の獅子舞を呼んで奉納たのが始まりと伝えている。

越前の康継と印された宝刀を現在も神楽奉納に使用している。

毎年の秋祭り。10月9日・10日の両日は、豊作祈願と悪魔拂いをおかねて境内で多数の氏子参詣の中に獅子舞が盛大に奉納される。

江戸時代から明治中期までは、神楽講により伝承され、昭和20年頃まで神楽青年会とも呼んでいた。

昭和40年、伝統の郷土芸能を立派に保存して行くと、古老を含む約50人で、神楽保存会を結成し、氏子中の長男が正会員となり運営している。

神楽の練習は、毎年秋祭りの前半月間毎夜続けられ本番を迎える。又、神戸市無形文化財の指定もうけ、神戸祭りをはじめ、公的な祝賀行事等にも出演することも度々である。

神楽の種類

剣の舞, 寝獅子, 五尺踊, 猿獅子, 御多福獅子, 鼻の舞, 京句, 天狗獅子,
背継獅子

2 松林寺

由緒及び沿革

当寺は、延宝6年3月(1678)曹洞宗開祖道元祥師21代法孫心月院五世雲岸異日大和尚の開創にして、法孫は連綿として住職を継承して等、二十二世現住正敏和尚に至る。その間、実に三百有四年を経る。大本山永平寺の末派心月院の末寺なり。

本尊 萃巖釈迦牟尼如来

開山 雲岸異日大和尚 示寂は天和二戊年4月18日

昭和46年本堂改築 鉄筋瓦葺 入母屋造り。

改築時本堂棟木より概略次のような棟板あり。

当山の創立の由来は、まだ詳しく解らないが、村の老人の言い伝えでは、当寺の北の山で「塔の尾」というところに、昔、七堂伽藍の大寺院があったと云い、佛塔には大きい梵鐘があった。もとよりその時代も、宗派も分からず、また、いつ廃絶したかも明らかでないが、老松の下に礎石など遺構がある。また、梵鐘は誰かに盗まれて持ち去られたようだが、西の山の池に投げ込まれたとも云い、そのため、その池の水は極寒にも凍らないと伝えている。

この北領によい場所があり、庵室を構え「天徳」と号した。その伽藍の称号は当山の開基州山益和尚がよい位置を選び、小庵を移して釈迦尊像を祀って本尊とした。困った心月五世雲岸和尚に請って開祖にしたという。

以下略

天明元年10月11日(1781)上梁

3 古墳遺跡等

道するべ

下上津

石井氏宅のそば 嘉永2年酉
北側 右至千町山 左有馬大阪
東側 右三木 やしろ 姫路
左 有馬 大阪
そばに供養塔がある。

行者堂について

下上津

高津甲山頂付近にあって、堂の中に高津神らしき像が安置されている。

下上津のお地藏さん

片山橋の南詰にある。
元旧道側にあったのを移転した。

下上津のお稻荷さん

旧街道側 森氏宅裏にある。
カイツカの大木が茂っている。

4 長尾の風習

めぐりさん

門松のことで、松、檜、栗の木を用い、あきの方に向けて立てしめ縄をめぐらす。

栗(九里)四方檜(貸)まわるの意味あり。

ほうらいさん

三宝に串柿、みかん、昆布、つくね豆、栗かや等を組みこれを祝い食する。その中心に大きな、つくね豆を置く。これは初雷が鳴った時はじめて食す。意味さだかでないが、ほうらいが宝来に通じ、さらに訪雷と通じたものではなかろうか。

穂長

1月4日、山の神をまつり、穂の長い柴を作り門先にて、餅、ごまめ、昆布、串垣、みかん等を供える。

わさ植の日、この柴で飯をたき、神をまつると長い穂が出ると云い伝えている。

豊作祈願の行事

祝柿について

正月祝柿を食する時、その種の数で年の作柄を占う風習あり。

一粒を五斗として計算する。

雑煮について

雑煮を煮るとき、アセビ（別名馬酔木、うしあらい、ぜにごめ）の木で焚くと、銭、米、わくわくと音をたてると云い縁起をかつぐ。

山の神様

1月9日、山の神様の日と称して山に入ることを禁ずる風習あり。

この日山に入れば山の神の怒にふれ怪我をすると。

とんど

しめかざり縄を集め、これを組んで燃す行事。

あきの方に倒れるのを吉とする。

書初などは高く上るほどよし。

この火にて餅を焼き、ちぎりて食すると蛇や虫にかまれないと云う。

又この火より火種を取り燈明を上げ、神をまつる。

卯月8日

各家、赤花を長い竹竿の先に立て仏を向える。

又井戸端で、赤花、しゃくなげを立て線香を立て、一升枡に米を入れて拝むと毒虫にさされないとの云い伝えあり。

雷詣り

梅雨入前に三田市桑原の欣勝寺に詣り、雷徐のお礼を受ける。

これを祀っておくと雷が鳴ったとき「ここは桑原欣勝寺」と唱えれば落ちない。

宮ごもり

春、秋二回、春は6月26日、秋は8月31日、いずれも神社にこもり神事なし一夜を明す。

春は田植の無事、稲の成育順調を祈り、秋は順調に出穂成熟することと風水害の無事を祈願し盆おどりなどをして楽しむ。

さなぶり

田植の終了日を予想して日を定め田植え休とする。又この日をもって、5月中の日当の支払いをするのが常

草 休

草取りは四番取るのを常とし、毎回定められた日を農休とする。又四番草のほかに、ごく日取り、土用草等がある。

雨喜び

旱天打続き水不足で困ったとき、良い雨に恵まれると区長が雨喜びをふれ休日となる。

雨乞い

旱天続きで旱魃の怖れある時神社で雨乞いの祈願をし、竹生島宝巖寺に詣り火繩をうけ、火種を持帰り池の堤で薪に火をつけ、本樋に御酒を供えて雨の降るのを乞う。

井戸かえ

8月7日墓掃除をすました後、其の水を替え底を清掃する。

数珠くり

盆の行事で、大数珠を大勢の者が念仏を唱えながら仏前で百回まわす。これを各家々順番に行う。

道作り

春、秋2回中日の明けの日と定め、地区内の道路を共同作業で整備する。

刈ごめ

それぞれの作業が終了した、きりを云う。

扱ごめ

夕食に御馳走で労をねぎらう。

亥の子

旧暦2月、10月の亥の日

亥の神様を祀る風習で一升杓に12ヶの餅を盛り上げて箕にのせ、わらで作った帚木をそえて臼の上で祀る。

その日なべを又、臼を使うことを禁じた。

この夜は亥の神様が帚木を持って踊られる。

これを犯すと亥の神様のように、頭が禿ると云われている。

又春の亥の子は吝り、秋は大神にし他人にふるまうほど良い。

古老によると、子供の頃「亥の子の餅を祀りましょう」と云って各家々を廻り、帚木では動作をして餅を貰い歩いたと。

月に3回ある年は豊年で、3回とも祀るとよい。通常は中の一日だけ祀る。

庚申さん

3月、5月、9月の23日

ぼた餅を作り庚申様を祀り、これを食う。

この日は月が夜中でないと出ないと云う。

大とも朔日

12月1日

この日は鳥の鳴く前に起き茄子のころもんと小豆粥を食うと、川を渡る時難をのがれ無事にこせるとの謂れがある。

大節季が無事にこせる意味に通ずのか。

雛節句

お雛様を長く飾って置くと娘の縁が遠い。

この日子供達は、重箱にすし等を詰めてもらい、友達と集い会って山野を遊び回る。

端午の節句

しょうぶと、よもぎを屋根の上にはおり上げ、夜はしょうぶ湯に入る。又寝るときしょうぶで鉢巻きをし枕の下にしいて寝る。

古老によると、昔、鬼に追われ、しょうぶとよもぎの茂った中に隠れ難をのがれたことよりきた風習だと。

又、5月5日に生まれた男子の肝は難病によくきくとのことより殺される恐れがあるので、この日生まれたことは他人に云わないようにしたとも云う。

節句の日働くとのらの節句働と称して、なまくら者の烙印を押された。

節句の日に田植えをすると病人の飯米となる。

5 田植えのこと

わさ植え

一番最初に植えること。

大吉、吉日を選ぶ。

荒神苗

初めて苗取りした日、三束の苗を持ち帰り荒神様に供え、丸い小石三ヶを供えて祀ると、そら手にならない。

この苗のことを荒神苗と云い長い苗を用いる。これより長い伸びすぎた苗のことを荒神苗とも云うようになった。

わさ植えのときこの苗を最初に植え、植初めとする。

不成就日、えんたいの日は田植えを避ける。

節句田

節句の日に植えると病人の飯米になると云う。

これを節句田と云う。

月夜田

満月の日に植えるとみなしが多いと云う。

これを月夜田と云う。

種下し

苗代の種下し（種蒔）の日は、大安とか一粒万倍とか吉日を選ぶ。

蒔き終わると柳の枝をさし、青いよい芽が出るように願う。

苗代団子と称するよもぎ団子を食する。

この日より昼寝がゆるされる。

苗代さわ

苗代の苗を全部取り除き、田植えの出来るようにすること。荒神束三束を持ち帰り祀る。

6 講について

伊勢講、天王講、愛宏講、大社講、金比羅講、行者講、道元講、毘沙門講
いずれも当番制で、それぞれの祝い日に営む。

伊勢講，大社講，愛宏講，金比羅講などは講金を掛け，三年毎ぐらいに講参りと称する本社参拝旅行をする。

講の営む月

伊勢講	1月	3月	6月	8月	11月
大社講	1月	3月	6月	8月	11月
天王講	1月	3月	8月	11月	
愛宏講	1月	3月	8月	11月	

毘沙門講

多聞寺毘沙門堂にて，毎年初寅の日に営む。

豊浦，有井，岡，下宅原の四ヶ地区回り番の当番制で行う。

福引，御礼，祭壇，炊事の係がある。

講中の人々，思い思いの供え物を持参，本堂で食事の接待を受ける。

毘沙門堂にてお勸をし，庭で山伏の護摩焚の行事に参加，家内安全，交通安全，商売繁昌等を祈願，そえ護摩をする。

又供物は福引により講中の人々に下げる。

道元講

8月28日，道元禅師を供養する仏事

当番の者が各戸を廻り，野菜等の副食材料を集め寺に持ちより食事の準備をする。

各人弁当持参で寺に集り，お勸をし当番の作った副食の接待で食事し法話を聞く。

金比羅

11月10日，一白餅を供え西方を向いて祀る。

この場合一白分全部供え少しでも取ってはいけない。(金比羅さんはけちん坊と云う)命の神様と云われ病弱の人はとくによく祀る。

三田市西山の山麓に社があり，米，餅等を供えお詣する。当日甘酒のふるまいがあった。

今もその社が残っている。

頼母子講

頼母子講は昔からあった様である。金の入用のときまとまった金が使える様に，請負20人位でそのときの事情によって，年掛，月掛の方法で営まれていた。

金を受取った家が次の会場になったり，亦一定の場所で営なむ方法があり，前者の方では夕食の準備をする。

大根や里芋のませ飯と豆腐汁と酒とで接待する事となっていた。

昭和5年頃は白米1kg20銭，大工の日当1円20銭位であった。

病気や婚礼で借金ができて困ったとき，講を初めてもうて一家の危機を切り抜けた。此の家を講元と云った。

此の場合は初回到講元が金を受け取る。例えば10円掛として20人で，200円の金が集まる。開講のときは先ず引札を入れて高い人が金を受け取る。初めて取った人は金利が高いが，度重なるに就いて次々に金利が安くなっていく。引札を開いて計算する間は，他の人々は世間話に花を咲かす。

亦掛金の方法は引金の多い方に落札するから、その人は次回から普通一般の掛金の上に金利を加えて支払わなければならない。これを大掛けと云う。その他の人は掛金から引金を平等に分配したものを掛金から差引いたものを支払えば良い。これを小掛と云う。

7 まじない事

はしかが近所にはやって来たら

「麻疹がすんだ子供留守」と入口にはると麻疹にかからない。

中風は冬至に南瓜を食べたらかからない。

新しい風呂に最初に入れば中風にかからない。

おたふく風にかかったら、ほうらくをかぶせて、その上からお灸をすえると良く効く。

顔にはたけができる時、雨蛙の腹で顔を二、三回なせるとなおる。

子供がミミズに小便をかけると陰茎がはれる。

はれた時は、雨だれ石を洗うとなおる。

うるしにまけた時は、焼き油揚でこすればなおる。

土用の丑の日になぎを食べると夏負しない。

亥の日にこたつをすると、こたつの中で病氣しない。

はな血が出たとき、ぼのくその毛を三本ぬくと止まる。

しびれが切れたときは薬すべを額にはると良い。

8 いみ事

昆布を焼いて食べると貧乏になる。

食後すぐねると牛になる。

イチジクを屋敷内に植えると、人が死ぬか病人がでる。

山椒の葉を取るとき、歌をうたうとその木は枯れる。

ぼけの木を家に植えると大事が起こる。

大晦日に早く戸を閉めると、福の神が入らない。

家相の鬼門に便所をつくると病人が絶えない。北枕と、西枕に寝てはいけない。

かまどの北向はいけない。

砥石を女がまたぐとわれる。

便所で障子紙を使うと痔病になる。

いたちの道切りはわるい。

9 天候に関する言伝え

雪が多い年は豊作

お月さんが傘を着ると雨が降る。

彼岸に六甲に雪が残っていると早魃

雲が三田行きすれば雨が降る。

【参考資料2】

下上津里づくりに係る提言及びアンケート調査の分析

提言者：神戸大学農学部教授 高橋 信 正

分析者：神戸大学農学部四回生 江 守 美 里

下上津里づくりに係る提言

2002.02.16
神戸大学農学部教授
高橋 信 正

下上津里づくり計画集落座談会

『この町が好き、緑と人情味いっぱい下上津』

— 豊かな環境で子供と年配者を大切に作る里づくり —

里づくりで考えておくべきこと

- 1 子供、若者が求めているものがこの町にあるのか、を考える。
街灯が少ない、バスなど交通の便がない、蚊が多い、山が切り開かれ住宅地になってきたことが寂しい、小さな子供が安全に遊べる場所がない、TV大阪が映り難い。
- 2 きれいな街づくりを目指す

里山の景観や手入れ状況	不満足 47%	満足 34%
河川の水質	不満足 61%	満足 14%
蚊、ハエの発生、臭気等衛生的環境	不満足 55%	満足 25%
家周辺の排水路整備状況	不満足 41%	満足 38%
- 3 集落営農組織は、農地を荒らさないためには、必要
過剰投資は明らか。
代金は農外収入——町としての収支も考える。
農業は趣味で良いのか。
- 4 直売所は、「ふれあい亜俱里」でウォーミング・アップ
- 5 市民農園構想について
場所、駐車場等いろいろ問題はあるが計画づくりをする。

下上津里づくり協議会

里づくり計画に係るアンケート調査集計 目 次

	ページ
下上津アンケート考察	1 ~ 2
下上津の里づくりについて	3 ~ 6
下上津の農業について	7 ~ 8
女性活動について	9 ~ 10
下上津アンケート 12~19歳対象	11 ~ 13
里づくりについてのクロス分析	14 ~ 16
農業についてのクロス分析	17
子供へのアンケートクロス分析	18
下上津の里づくりについて	
問7② 里づくりを誰から聞いたか?	19
問12 市民農園と直売所の問題点	19 ~ 20
問13 里づくりに関して自分の協力できること	20 ~ 21
問17② 計画に取り入れてほしい項目は?	21
問23① 下上津の好きなところ	21 ~ 23
問23② 下上津の改善してほしいところ	23 ~ 25
問24① 集落内で保存したいところ	25
問24② 家に農業の後継者はいるか?	25
問24③ 下上津をよりよくする為には?	25 ~ 26
問24④ 数年後、数十年後に困ることは?	26 ~ 27
問24⑤ 里づくりについてあなたが取り組みたいことは?	27 ~ 28
下上津の農業について	
問4② 下上津の農業についてどう思うか?	29
問7② どうなれば営農部会に委託するか?	29
問8② 今後購入したい機械名、購入時期	29
問10 市民農園や特産物の生産についてのアイデア	29
問11① 営農部会の問題点	29 ~ 30
問11② 営農部会の解決策	30
女性活動について	
問4② 具体的に何をしたいか?	31
問5④ その他、取り組んでみたいこと	31
問8 特産物の生産について	31
問9 里づくりについての意見	31 ~ 32
下上津アンケート 12~19歳対象	
問7① 保存したい行事名	33
問7② その理由	33
問8② 参加したことがある行事名	33
問10 企画してみたいイベント	33
問12① 下上津の好きなところ	34
問12② 下上津の改善してほしいところ	34
問13② 下上津に住みつづけた理由	34
問13③ 下上津に住みつづけたくない理由	34
問18② 農業をしたい理由	35
問18③ 農業をしたくない理由	35
問21 お母さんの仕事をどう思うか?	35
問23 お父さんと農業についてどう思うか?	35
問24 下上津をよりよくする為にはどうしたらよいか?	35 ~ 36

下上津アンケート考察

神戸大学農学部四回生 江守 美里

今回下上津の皆さんの協力を得て里づくりに関するアンケートを行いました。予想以上の多くの方々に回答していただき本当にありがとうございました。このアンケートが皆さんの里づくりに少しでも役立てば、と思います。

以下にアンケートの考察を記します。

I. 下上津の里づくりについて

まず、見ていただきたいのが問6.里づくり協議会について知っているか、との設問で「はい」と答えたのが96名(206名回答)、「いいえ」と答えたのが110名(206名回答)であるという結果です。アンケートに答えていただいた方の半数以上が里づくり協議会を知らないという結果でした。次の問7.協議会をどのように知ったか、という設問では知っていると答えた方の65%以上が集落の集まりで知ったと答えています。里づくりという事業は、協議会の役員の方たちだけで成せるものではありません。集落全体で行っていく大事な事業なので、会報で知らせるなどして、今後は会合に参加していない方たちにも全て知らせていくことが重要ではないかと思えます。

市民農園、直売所についてですが、どちらも始めるにあたっては問題になることがあることを多くの方が指摘されていました。皆さんで里づくり事業に市民農園や直売所を組み込んでいくのかを決定する時にはこれら諸問題をじっくり話し合う必要があると思えます。

問17.里づくり協議会、計画は必要か、との設問では「必要」、「必要ない」はほぼ同数でしたが6割以上の方が「わからない」との答えでした。里づくりということについて知らなかった方が半数以上いらっしゃったのでまだまだ皆さん、里づくりというものがどういう事をしていくのか分からない状態であるのだと思えます。しかし、問16.将来集落がなくなることを考えたことがあるか、との問いに約3割の方が「ある」と答え、下上津の将来に不安を抱いておられます。この下上津という集落をなくさないためにも、この里づくり事業を良い機会として住民の皆さんが一丸となって取り組んでいくべきではないでしょうか。

II. 下上津の農業について

問5での設問の結果から、5年後ぐらいはまだ現在の農業を続けられるが、10年後はもうどうなっているのかはわからないといった印象を受けました。これは今実際に作業されている方が高齢者が多く、後継者もないという理由からでしょうか。また、やはりそうなるとうる農部会というものは必要になってくると思えます。回答者の方の約半数は必要であると答えていらっしゃいます。しかし、これにも、多々問題点が上がっています。営

農部会についてもこれら問題点を解決するため、度重なる話し合いは重要だと思います。

Ⅲ. 女性活動について

問3.余暇の量についてという設問において、満足されていない方は6割を超えていました。そういう背景から問4の女性が中心の活動について、問5の野菜を売ることについて、地域の介護活動について、市民農園について、ということに皆さん消極的なのでしょう。ほとんどの質問で「わからない」「どちらでもない」という答えを選択されている方が多い中で、里づくりに対して積極的な意見を述べられている方もいらっしゃいました。今は小さな意見ですが、この積極的な意見がまわりも巻き込んで下上津の女性全体の意見となることに期待したいです。あまり自分の意見を表に出さないといった印象の下上津の女性の方々ですが、下上津というすばらしい集落を子供たちに残してあげるためには、女性の協力も必ず必要だと思います。

Ⅳ. 下上津アンケート12~19歳対象

子供たちの意見から、買い物・交通の便の悪さ、街灯が少ない、安全な遊び場がないなど、改善してほしいところはあるが、そういう、街でなく「いなか」という感じが好きであると考えている子供たちが意外に多いと感じました。また、問6.祭りや伝統行事を大切にしていきたいか、との質問に「いいえ」と答えたのは18名中1人だけというという結果でした。問13で住み続けたくないと答えた子供も18名中3人という事で、これらのことから子供たちは大半が下上津に愛着を感じていると思います。

子供たちに行ったアンケートでは里づくり協議会についての認知度は大人より顕著に表れていました。問4の結果ですが、回答してくれた子供たちの全員が知らないということでした。しかし、問24で書いてくれた意見のなかで、里づくり協議会というものを大人も子供ももっとみんなにしらせるべきだと思うとあります。(4人目の意見)大人だけで考えようとしても、よりよい里にはできない、大人も子供も全員が考える問題だ、とあります。自分の町を誇りに思いたい、この気持ちを大切にしながら大人たちはもっと真剣に下上津の将来を考えるべきではないでしょうか。

下上津の里づくりについて

問1 性別		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男	94	45.2	45.2
2	女	114	54.8	54.8
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		208	100	208

問2 年齢		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	20歳代	25	12	12.3
2	30歳代	20	9.6	9.9
3	40歳代	28	13.5	13.8
4	50歳代	44	21.2	21.7
5	60歳代	42	20.2	20.7
6	70歳以上	44	21.2	21.7
	不明	5	2.4	
サンプル数(%ベース)		208	100	203

問3 世帯員のうちどれか?		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	世帯主	69	33.2	35
2	世帯主の配偶者	57	27.4	28.9
3	子供	43	20.7	21.8
4	親	18	8.7	9.1
5	兄弟姉妹	1	0.5	0.5
6	祖父母	7	3.4	3.6
7	孫	1	0.5	0.5
8	その他(叔父母、従兄弟、甥姪等)	1	0.5	0.5
	不明	11	5.3	
サンプル数(%ベース)		208	100	197

問4 家族の人数		(数量)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1	4	1.9	2
2	2	26	12.5	12.9
3	3	25	12	12.4
4	4	39	18.8	19.3
5	5	39	18.8	19.3
6	6	44	21.2	21.8
7	7	21	10.1	10.4
8	8以上	4	1.9	2
	不明	6	2.9	
サンプル数(%ベース)		208	100	202

問5 一緒に住んでいる人は?		(MA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0歳~幼稚園児	24	11.5	13.7
2	小学生	39	18.8	22.3
3	中学生	18	8.7	10.3
4	高齢者	121	58.2	69.1
5	子供も高齢者もない	29	13.9	16.6
	不明	33	15.9	
サンプル数(%ベース)		208	100	175

問6 里づくり協議会を知っているか?		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	96	46.2	46.6
2	いいえ	110	52.9	53.4
	不明	2	1	
サンプル数(%ベース)		208	100	206

問7① どのように知ったか? (MA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	集落の集まり	63	65.6	65.6
2	家族から	25	26	26
3	隣近所の方から	6	6.3	6.3
4	その他	7	7.3	7.3
	不明	0	0	
サンプル数(96ベース)		96	100	96

問8 里づくり計画についてどう思うか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	積極的に取り組みたい	27	13	13.4
2	まわりが取り組むなら自分も取り組む	53	25.5	26.4
3	やる気はない	30	14.4	14.9
4	わからない	91	43.8	45.3
	不明	7	3.4	
サンプル数(96ベース)		208	100	201

問9 責任者に選ばれたらどう思うか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	前向きに取り組みたい	27	13	13.2
2	乗り気ではないが仕方ない	49	23.6	24
3	やりたくない	56	26.9	27.5
4	わからない	72	34.6	35.3
	不明	4	1.9	
サンプル数(96ベース)		208	100	204

問10 市民農園をどう思うか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	やってみたい、やっても良い	53	25.5	26.2
2	やりたくない、やらない方が良い	53	25.5	26.2
3	どちらでもない	96	46.2	47.5
	不明	6	2.9	
サンプル数(96ベース)		208	100	202

問11 農産物の直売所についてどう思うか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	やってみたい、やっても良い	30	14.4	16.7
2	やりたくない、やらない方が良い	43	20.7	23.9
3	どちらでもない	107	51.4	59.4
	不明	28	13.5	
サンプル数(96ベース)		208	100	180

問14 下上津の満足度 (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	大変満足	4	1.9	2
2	満足	79	38	39.3
3	どちらともいえない	80	38.5	39.8
4	やや不満	20	9.6	10
5	不満	18	8.7	9
	不明	7	3.4	
サンプル数(96ベース)		208	100	201

問15 祭りや伝統行事について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	積極的に参加したい	58	27.9	28.7
2	参加したくない	31	14.9	15.3
3	どちらともいえない	113	54.3	55.9
	不明	6	2.9	
サンプル数(96ベース)		208	100	202

問16 将来集落がなくなること考えたことがあるか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある	61	29.3	30.2
2	ない	106	51	52.5
3	わからない	35	16.8	17.3
	不明	6	2.9	
サンプル数(96ベース)		208	100	202

問17① 里づくり協議会、計画は必要か(SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要	33	15.9	16.9
2	必要ない	30	14.4	15.4
3	わからない	132	63.5	67.7
	不明	13	6.3	
	サンプル数(%ベース)	208	100	195

問18 下上津の人間関係について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	大変まとまりが良い	2	1	1
2	まとまりが良い	66	31.7	32.4
3	まとまりが悪い	47	22.6	23
4	大変まとまりが悪い	10	4.8	4.9
5	どちらともいえない	79	38	38.7
	不明	4	1.9	
	サンプル数(%ベース)	208	100	204

問19 集落で話し合う機会について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要	69	33.2	34.2
2	必要ない	30	14.4	14.9
3	わからない	103	49.5	51
	不明	6	2.9	
	サンプル数(%ベース)	208	100	202

問20 実際に話し合う機会が増えたら?(SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必ず参加する	4	1.9	2
2	できる限り参加する	81	38.9	40.3
3	参加しない	50	24	24.9
4	わからない	66	31.7	32.8
	不明	7	3.4	
	サンプル数(%ベース)	208	100	201

問21 集落のホームページについて (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	興味があり、下上津でもつくりたい	8	3.8	4.1
2	興味はあるが、見るだけで良い	34	16.3	17.3
3	興味はあるが、パソコンがない	24	11.5	12.2
4	特に興味はない	96	46.2	49
5	何のことかわからない	29	13.9	14.8
6	その他	5	2.4	2.6
	不明	12	5.8	
	サンプル数(%ベース)	208	100	196

問22① 集落の山々がきれいだと思うか (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	102	49	58
2	いいえ	74	35.6	42
	不明	32	15.4	
	サンプル数(%ベース)	208	100	176

問22② 田んぼの風景が美しいと思うか (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	122	58.7	69.3
2	いいえ	54	26	30.7
	不明	32	15.4	
	サンプル数(%ベース)	208	100	176

問22③ 集落の町並みが美しいと思うか (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	72	34.6	42.9
2	いいえ	96	46.2	57.1
	不明	40	19.2	
	サンプル数(%ベース)	208	100	168

問22④ 道路が整備されていると思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	80	38.5	46.5
2	いいえ	92	44.2	53.5
	不明	36	17.3	
	サンプル数(%)ベース)	208	100	172

問22⑦ 学校が通いやすいと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	43	20.7	24.9
2	いいえ	130	62.5	75.1
	不明	35	16.8	
	サンプル数(%)ベース)	208	100	173

問22⑤ 川の水がきれいだと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	23	11.1	13.1
2	いいえ	152	73.1	86.9
	不明	33	15.9	
	サンプル数(%)ベース)	208	100	175

問22⑧ 交通の便が良いと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	20	9.6	11.1
2	いいえ	160	76.9	88.9
	不明	28	13.5	
	サンプル数(%)ベース)	208	100	180

問22⑥ 遊び場が十分だと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	28	13.5	16.3
2	いいえ	144	69.2	83.7
	不明	36	17.3	
	サンプル数(%)ベース)	208	100	172

問22⑨ 買い物が便利だと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	26	12.5	14.5
2	いいえ	153	73.6	85.5
	不明	29	13.9	
	サンプル数(%)ベース)	208	100	179

下上津の農業について

問1 仕事		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	農業	17	24.3	24.3
2	サラリーマン	34	48.6	48.6
3	自営業	10	14.3	14.3
4	パートや臨時的な勤め	2	2.9	2.9
5	無職	5	7.1	7.1
6	その他	2	2.9	2.9
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		70	100	70

問2 農業についてどう思うか?		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	活発である	2	2.9	2.9
2	ふつうである	39	55.7	56.5
3	活発ではない	16	22.9	23.2
4	わからない	12	17.1	17.4
	不明	1	1.4	
サンプル数(%ベース)		70	100	69

問3 農家ですか?		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	42	60	60
2	いいえ	28	40	40
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		70	100	70

問4① 今後農業したいですか?		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	思ったことがある	8	28.6	28.6
2	思ったことがない	17	60.7	60.7
3	わからない	3	10.7	10.7
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		28	100	28

問5① 5年後の農業について		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	拡大が可能である	0	0	0
2	現状維持は可能である	22	52.4	55
3	現状維持は現在のままでは不可能である	7	16.7	17.5
4	わからない	11	26.2	27.5
	不明	2	4.8	
サンプル数(%ベース)		42	100	40

問5② 10年後の農業について		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	拡大が可能である	0	0	0
2	現状維持は可能である	12	28.6	30
3	現状維持は現在のままでは不可能である	10	23.8	25
4	わからない	18	42.9	45
	不明	2	4.8	
サンプル数(%ベース)		42	100	40

問6 営農部会をつくることについて		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要である	19	45.2	47.5
2	必要でない	8	19	20
3	わからない	13	31	32.5
	不明	2	4.8	
サンプル数(%ベース)		42	100	40

問7① 営農部会に作業を委託するか?		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	委託する	10	23.8	30.3
2	発足しても自分で農作業を行う	7	16.7	21.2
3	わからない	16	38.1	48.5
	不明	9	21.4	
サンプル数(%ベース)		42	100	33

問8① 購入したい機械はあるか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある	3	7.1	9.4
2	ない	29	69	90.6
	不明	10	23.8	
	サンプル数(%ベース)	42	100	32

問9 営農部会について話し合うことは？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	必要である	16	38.1	47.1
2	必要でない	6	14.3	17.6
3	わからない	12	28.6	35.3
	不明	8	19	
	サンプル数(%ベース)	42	100	34

女性活動について

問1 農家ですか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体%)	(除不%)
1	はい	61	59.8	60.4
2	いいえ	40	39.2	39.6
	不明	1	1	
	サンプル数(%ベース)	102	100	101

問2① 農家の嫁として改善してほしいところ(MA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体%)	(除不%)
1	朝が早い	5	8.2	9.3
2	農作業がきつい	19	31.1	35.2
3	家事・育児との両立が難しい	6	9.8	11.1
4	収入が少ない	34	55.7	63
5	休みが少ない	14	23	25.9
6	その他	2	3.3	3.7
7	特にない	17	27.9	31.5
	不明	7	11.5	
	サンプル数(%ベース)	61	100	54

問3 余暇の量について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体%)	(除不%)
1	大変満足	6	5.9	6.3
2	満足	29	28.4	30.2
3	どちらでもない	33	32.4	34.4
4	やや不満	14	13.7	14.6
5	不満	14	13.7	14.6
	不明	6	5.9	
	サンプル数(%ベース)	102	100	96

問4① 女性が中心の活動について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体%)	(除不%)
1	やってみたい	4	3.9	4.3
2	あまり何もしたくない	38	37.3	40.4
3	わからない	52	51	55.3
	不明	8	7.8	
	サンプル数(%ベース)	102	100	94

問5① 野菜を売りに行く、直売所で売ることについて (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体%)	(除不%)
1	やってみたい、やってみても良い	7	6.9	7.9
2	やりたくない、やらない方が良い	30	29.4	33.7
3	どちらでもない	52	51	58.4
	不明	13	12.7	
	サンプル数(%ベース)	102	100	89

問5② 地域の介護活動について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体%)	(除不%)
1	やってみたい、やってみても良い	18	17.6	20.5
2	やりたくない、やらない方が良い	19	18.6	21.6
3	どちらでもない	51	50	58
	不明	14	13.7	
	サンプル数(%ベース)	102	100	88

問5③ 市民農園について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体%)	(除不%)
1	やってみたい、やってみても良い	16	15.7	17.4
2	やりたくない、やらない方が良い	24	23.5	26.1
3	どちらでもない	52	51	56.5
	不明	10	9.8	
	サンプル数(%ベース)	102	100	92

問6 下上津の女性の付き合いについて		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	まとまりがよい	17	16.7	17.9
2	まとまりが悪い	17	16.7	17.9
3	どちらでもない	61	59.8	64.2
	不明	7	6.9	
	サンプル数(%ベース)	102	100	95

問7 下上津で女性の意見はどのように扱われているか？(SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	尊重されている	6	5.9	7.9
2	あまり尊重されていない	15	14.7	19.7
3	ないがしるにされている	4	3.9	5.3
4	意見する機会がない	11	10.8	14.5
5	わからない	40	39.2	52.6
	不明	26	25.5	
	サンプル数(%ベース)	102	100	76

下上津アンケート12～19歳対象

問1 性別		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男	6	33.3	33.3
2	女	12	66.7	66.7
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		18	100	18

問2 年齢		(数量)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	12～13	1	5.6	5.6
2	14～15	3	16.7	16.7
3	16～17	3	16.7	16.7
4	18以上	11	61.1	61.1
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		18	100	18

問3 何年住んでいるか?		(数量)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0～4	1	5.6	5.6
2	5～9	1	5.6	5.6
3	10～14	1	5.6	5.6
4	15以上	15	83.3	83.3
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		18	100	18

問4 里づくり協議会について (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	知っている	0	0	0
2	いいえ	18	100	100
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		18	100	18

問6 祭りや伝統行事を大切にしたいか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	5	27.8	27.8
2	いいえ	1	5.6	5.6
3	どちらでもない	12	66.7	66.7
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		18	100	18

問8① 行事に参加したことがあるか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある	12	66.7	66.7
2	ない	3	16.7	16.7
3	わからない	3	16.7	16.7
	不明	0	0	
サンプル数(%ベース)		18	100	18

問9 自分たちでイベントを企画したいか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	したい	2	11.1	11.8
2	したくない	4	22.2	23.5
3	わからない	11	61.1	64.7
	不明	1	5.6	
サンプル数(%ベース)		18	100	17

問11① 下上津の山々がきれいだと思うか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	12	66.7	70.6
2	いいえ	5	27.8	29.4
	不明	1	5.6	
サンプル数(%ベース)		18	100	17

問11② 田んぼの風景は美しいと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	11	61.1	68.8
2	いいえ	5	27.8	31.3
	不明	2	11.1	
	サンプル数(%ベース)	18	100	16

問11⑥ 遊び場が十分だと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	0	0	0
2	いいえ	17	94.4	100
	不明	1	5.6	
	サンプル数(%ベース)	18	100	17

問11③ 集落の家並みが美しいと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	5	27.8	33.3
2	いいえ	10	55.6	66.7
	不明	3	16.7	
	サンプル数(%ベース)	18	100	15

問11⑦ 学校へは通いやすいと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	8	44.4	47.1
2	いいえ	9	50	52.9
	不明	1	5.6	
	サンプル数(%ベース)	18	100	17

問11④ 道路が整備されていると思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	6	33.3	35.3
2	いいえ	11	61.1	64.7
	不明	1	5.6	
	サンプル数(%ベース)	18	100	17

問11⑧ 交通の便が良いと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	2	11.1	11.1
2	いいえ	16	88.9	88.9
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

問11⑤ 川の水がきれいだと思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	1	5.6	5.9
2	いいえ	16	88.9	94.1
	不明	1	5.6	
	サンプル数(%ベース)	18	100	17

問11⑨ 買い物が便利であると思うか？ (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	1	5.6	5.6
2	いいえ	17	94.4	94.4
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

問13① 住みつづけたいか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	6	33.3	33.3
2	いいえ	3	16.7	16.7
3	わからない	9	50	50
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

問14① どこに住みたいか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	都市部	1	33.3	33.3
2	郊外	2	66.7	66.7
3	下上津以外の農村	0	0	0
4	その他	0	0	0
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	3	100	3

問15 集落がなくなると考えたことがあるか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある	3	16.7	16.7
2	ない	12	66.7	66.7
3	わからない	3	16.7	16.7
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

問16 大人は集落の将来を考えているか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	4	22.2	22.2
2	いいえ	4	22.2	22.2
3	わからない	10	55.6	55.6
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

問17 農家ですか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	8	44.4	44.4
2	いいえ	10	55.6	55.6
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

問18① 将来農業をしたいか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	したい	1	5.6	6.3
2	したくない	15	83.3	93.8
	不明	2	11.1	
	サンプル数(%ベース)	18	100	16

問19① どんな農家になりたいか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専業農家	0	0	0
2	兼業農家	1	100	100
3	わからない	0	0	0
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	1	100	1

問20 お母さんの仕事は? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	会社勤め	6	33.3	33.3
2	パート、又は内職	5	27.8	27.8
3	専業主婦	5	27.8	27.8
4	その他	2	11.1	11.1
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

問22 お父さんは農業をしているか? (SA)				
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	はい	8	44.4	44.4
2	いいえ	10	55.6	55.6
	不明	0	0	
	サンプル数(%ベース)	18	100	18

里づくりについてのクロス分析

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問6 里づくりの機会を知っているか?	合計	206	94	112	202	25	20	28	44	42	43
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	はい	96	58	38	95	-	2	15	27	29	22
	46.6	61.7	33.9	47.0	-	10.0	53.6	61.4	69.0	51.2	
	110	36	74	107	25	18	13	17	13	21	
	53.4	38.3	66.1	53.0	100.0	90.0	46.4	38.6	31.0	48.8	

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問8 里づくり計画についてどう思うか?	合計	201	91	110	197	25	20	28	44	37	43
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	積極的に取り組みたい	27	18	9	26	1	1	6	5	7	6
		13.4	19.8	8.2	13.2	4.0	5.0	21.4	11.4	18.9	14.0
	まわりが取り組むなら自分も取り組む	53	26	27	53	-	5	7	17	13	11
		26.4	28.6	24.5	26.9	-	25.0	25.0	38.6	35.1	25.6
やる気はない	30	15	15	30	5	4	3	8	5	5	
	14.9	16.5	13.6	15.2	20.0	20.0	10.7	18.2	13.5	11.6	
わからない	91	32	59	88	19	10	12	14	12	21	
	45.3	35.2	53.6	44.7	76.0	50.0	42.9	31.8	32.4	48.8	

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問9 責任を担いたいですか?	合計	204	94	110	200	25	20	28	44	42	41
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前向きに取り組みたい	27	21	6	27	1	1	2	9	10	4
		13.2	22.3	5.5	13.5	4.0	5.0	7.1	20.5	23.8	9.8
	乗り気ではないが仕方ない	49	20	29	47	5	5	6	11	11	9
		24.0	21.3	26.4	23.5	20.0	25.0	21.4	25.0	26.2	22.0
やりたくない	56	25	31	55	9	9	9	14	9	5	
	27.5	26.6	28.2	27.5	36.0	45.0	32.1	31.8	21.4	12.2	
わからない	72	28	44	71	10	5	11	10	12	23	
	35.3	29.8	40.0	35.5	40.0	25.0	39.3	22.7	28.6	56.1	

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問10 市民会館 をどう思 うか?	合計	202	93	109	188	25	20	28	43	42	40
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	やってみたい やっても良い	53	28	25	53	5	6	7	12	12	12
		26.2	30.1	22.9	28.8	20.0	25.0	25.0	27.9	28.6	30.0
	やりたくない やらない方が良 い	53	28	25	51	4	5	6	17	15	4
	26.2	30.1	22.9	25.8	16.0	25.0	21.4	39.5	35.7	10.0	
どちらでもない	96	37	59	94	16	10	15	14	15	24	
	47.5	39.8	54.1	47.5	64.0	50.0	53.8	32.8	35.7	60.0	

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問11 図書館の 直営所を どう思 うか?	合計	180	81	99	176	23	20	26	44	29	34
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	やってみたい やっても良い	30	14	16	30	3	4	5	7	7	4
		16.7	17.3	16.2	17.0	13.0	20.0	19.2	15.9	24.1	11.8
	やりたくない やらない方が良 い	43	24	19	42	3	4	5	17	6	7
	23.9	29.6	19.2	23.9	13.0	20.0	19.2	38.6	20.7	20.6	
どちらでもない	107	43	64	104	17	12	16	20	16	23	
	59.4	53.1	64.6	59.1	73.9	60.0	61.5	45.5	55.2	67.6	

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問14 下上層の 満足度	合計	201	93	108	196	25	20	28	44	39	40
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	大変満足	4	2	2	4	-	-	1	1	-	2
		2.0	2.2	1.9	2.0	-	-	3.6	2.3	-	5.0
	満足	79	40	39	78	5	6	10	19	19	19
		39.3	43.0	36.1	39.8	20.0	30.0	35.7	43.2	48.7	47.5
	どちらともいえ ない	80	37	43	78	15	9	12	18	12	14
	39.8	39.8	39.8	39.8	60.0	45.0	42.9	36.4	30.8	35.0	
やや不満	20	9	11	19	1	3	2	5	6	2	
	10.0	9.7	10.2	9.7	4.0	15.0	7.1	11.4	15.4	5.0	
不満	18	5	13	17	4	2	3	3	2	3	
	9.0	5.4	12.0	8.7	16.0	10.0	10.7	6.8	5.1	7.5	

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問15 祭りや伝統行事についてどう思うか?	合計	202 100.0	94 100.0	108 100.0	197 100.0	25 100.0	20 100.0	28 100.0	44 100.0	42 100.0	38 100.0
	積極的に参加したい	58 28.7	35 37.2	23 21.3	57 28.9	5 20.0	2 10.0	8 28.6	17 38.6	13 31.0	12 31.6
	参加したくない	31 15.3	14 14.9	17 15.7	30 15.2	6 24.0	8 40.0	3 10.7	5 11.4	5 11.9	3 7.9
	どちらともいえない	113 55.9	45 47.9	68 63.0	110 55.8	14 56.0	10 50.0	17 60.7	22 50.0	24 57.1	23 60.5

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問16 将来葉落なくともあるかと考えたとき、いかがですか?	合計	202 100.0	93 100.0	109 100.0	197 100.0	25 100.0	20 100.0	28 100.0	44 100.0	42 100.0	38 100.0
	ある	61 30.2	31 33.3	30 27.5	58 29.4	8 32.0	4 20.0	9 32.1	13 29.5	11 26.2	13 34.2
	ない	106 52.5	50 53.8	56 51.4	104 52.8	12 48.0	13 65.0	15 53.6	24 54.5	24 57.1	16 42.1
	わからない	35 17.3	12 12.9	23 21.1	35 17.8	5 20.0	3 15.0	4 14.3	7 15.9	7 16.7	9 23.7

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢						
		合計	男	女	合計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
問17 里づくり協議会、計画は必要か?	合計	195 100.0	90 100.0	105 100.0	191 100.0	25 100.0	19 100.0	26 100.0	41 100.0	41 100.0	39 100.0
	必要	33 16.9	23 25.6	10 9.5	32 16.8	1 4.0	-	6 23.1	10 24.4	8 19.5	7 17.9
	必要ない	30 15.4	21 23.3	9 8.6	30 15.7	2 8.0	5 26.3	1 3.8	10 24.4	10 24.4	2 5.1
	わからない	132 67.7	46 51.1	86 81.9	129 67.5	22 88.0	14 73.7	19 73.1	21 51.2	23 56.1	30 76.9

農業についてのクロス分析

上段:度数 下段:%		問5① 5年後の農業について				
		合計	拡大が可能である	現状維持は可能である	現状維持は現在のままでは不可能である	わからない
問5② 10年後の農業について	合計	40 100.0	-	22 100.0	7 100.0	11 100.0
	拡大が可能である	-	-	-	-	-
	現状維持は可能である	12 30.0	-	12 54.5	-	-
	現状維持は現在のままでは不可能である	10 25.0	-	4 18.2	5 71.4	1 9.1
	わからない	18 45.0	-	6 27.3	2 28.6	10 90.8

上段:度数 下段:%		問6 営農部会をつくることについて			
		合計	必要である	必要でない	わからない
問7① 営農部会を 委託する か?	合計	33 100.0	17 100.0	6 100.0	10 100.0
	委託する	10 30.3	9 52.9	-	1 10.0
	充足しても自分で農作業を行う	7 21.2	2 11.8	4 66.7	1 10.0
	わからない	16 48.5	6 35.3	2 33.3	8 80.0

子供へのアンケートクロス分析

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢				
		合計	男	女	合計	12~13	14~15	16~17	18以上
問6 祭りや伝統行事を大切にしたいか?	合計	18 100.0	6 100.0	12 100.0	18 100.0	1 100.0	3 100.0	3 100.0	11 100.0
	はい	5 27.8	1 16.7	4 33.3	5 27.8	-	2 66.7	-	3 27.3
	いいえ	1 5.6	-	1 8.3	1 5.6	-	-	-	1 9.1
	どちらでもない	12 66.7	5 83.3	7 58.3	12 66.7	1 100.0	1 33.3	3 100.0	7 63.6

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢				
		合計	男	女	合計	12~13	14~15	16~17	18以上
問9 自分たちが中心になって活動したいか?	合計	17 100.0	6 100.0	11 100.0	17 100.0	1 100.0	3 100.0	3 100.0	10 100.0
	したい	2 11.8	1 16.7	1 9.1	2 11.8	-	-	-	2 20.0
	したくない	4 23.5	2 33.3	2 18.2	4 23.5	-	-	2 66.7	2 20.0
	わからない	11 64.7	3 50.0	8 72.7	11 64.7	1 100.0	3 100.0	1 33.3	6 60.0

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢				
		合計	男	女	合計	12~13	14~15	16~17	18以上
問13 住みつけたいか?	合計	18 100.0	6 100.0	12 100.0	18 100.0	1 100.0	3 100.0	3 100.0	11 100.0
	はい	6 33.3	2 33.3	4 33.3	6 33.3	-	2 66.7	-	4 36.4
	いいえ	3 16.7	-	3 25.0	3 16.7	1 100.0	1 33.3	-	1 9.1
	わからない	9 50.0	4 66.7	5 41.7	9 50.0	-	-	3 100.0	6 54.5

上段:度数 下段:%		問1 性別			問2 年齢				
		合計	男	女	合計	12~13	14~15	16~17	18以上
問15 集積がなるとかあるか?	合計	18 100.0	6 100.0	12 100.0	18 100.0	1 100.0	3 100.0	3 100.0	11 100.0
	ある	3 16.7	-	3 25.0	3 16.7	-	1 33.3	-	2 18.2
	ない	12 66.7	6 100.0	6 50.0	12 66.7	1 100.0	1 33.3	3 100.0	7 63.6
	わからない	3 16.7	-	3 25.0	3 16.7	-	1 33.3	-	2 18.2

下上津の里づくりについて

問7② 里づくりを誰から聞いたか？

「下上津里づくり協議会」集落座談会次第を見て
協議会の役員から
役員である
他の会合で聞いた
北農政事務所

問12 市民農園と直売所の問題点

管理、農産物の安定供給、場所（駐車場も含めて）、担当する人員、人件費、PRの方法

強制的にやらされるのは仕事を持っている者にとっては苦痛である。

店番は誰がするのか？売れ残った物はどうするか？

毎回商品が出せるか

駐車場、ゴミの始末

運営方法、土地の供給、排水、農産物の確保、販売方法、価格のつけ方

非農家の数は少ないと思うので旬のもので普通の物だけだと売れるかどうか？

他の地域との接し方が下手であること

生産者の意向（特に金額の面）が表にでにくい

集落の人はたいてい農産物をつくっているのに直売所は成り立たないのではないかと

市民農園としてどの土地を利用するか、直売所は40才、50才代の農業ばなれの中で一部の人たちだけのものにならないか

お客が来るかどうか

代表者を選ぶこと

世話人を誰がするのか、ボランティアか賃金を払うのか

結局は時間の自由のきくお年寄りの人の参加しか見込めないのでは？

近くに直売所はありすぎるのではないかと

お客が来るかどうか

生産コストの問題

場所、集客対策、管理

利用者の有無、近隣団地住民との対話等、コミュニケーションの場作りができるかどうか？

直売所はJA兵庫六甲長尾支店で今年の7月より始めたので現状では無理。

作物栽培者不足、労力不足

JAの直売所と競合するから

無農薬、低農薬が望まれる中での信用

一部理解者のみで実施するのではなく現在の下上津地区の環境等を十分に考え全員が一致協力して実行することが望ましい。しかし、まだまだ全員の理解を得ていない。

全体の意志の統一

農薬問題

直売所は長尾町でオープンさせたので直売所はいらない

下上津地区では、持ち畑もあり各自の野菜等は自家製でき、兼業で直売するような手間もなく、また良品も作ることが難しい

若い物がほとんど勤めに出ている。

だれが管理するのか？どこの農地をつかうのか？直売所はすでにJA長尾にあるので必要ないのでは？

場所的なこと

お金関係のもめ事が起こらないか？商売になる場所が下上津内にあるか？

直売所で売る野菜はその地域でもできるもので遠くのお客を待つのでは売ることが出来ない

買い手の問題、売れ残り品の処分の問題

非農家があるから集落全体でするのはダメ。農家だけですればいい。

市民農園は利用があるか？直売所は生産物が少ない、買いに来てくれる人々がない（自分で作っている人が多い）

この問題だけでなく個人勝手に規律を守らない人がいる。このような人達と共同で行なうことは私は出来ない。

場所の問題

1. 市民農園として利用してもらえる田畑の所有者はよいが、該当しない所有者はかやの外になる 2. 利益分配しても使用地と使用してもらえない休耕田との稲作にかかわる作業の不公平差が残る 3. 農園として利用する農地が脳裏に浮かぶ（自分の土地が使用してもらえない） 4. 現在各農家が野菜を作っている。一部JAで販売に出している方がいるが「出しても売れない」「価格を低くしても売れ残る」と聞く。

集落での販売には限界がありどれだけ珍しいものがおけるか？市民農園での共益費みたいなもの

市民農園は誰のほ場であるのか、いつまでその場所で続けるか、駐車場はどうするか。

直売所は適当な設置場所があるか、買い物客がどの位くるか

人が集まらない

公平さを保てることが出来るか

問13 里づくりに関して自分の協力できること

田畑をいくらか供給できること

空き缶ひろい等のクリーン作戦

花などフラワーアレンジして商品にできる

就労のため、休日の労力の提供

他人の意見を聞く耳を持つ

このようなアンケートにアイデアを出していくこと

事務処理（帳簿付け等）

農産物の出品

販売員、農園管理

5年後、10年後を考える時、協議会の役員として、住みよい“里づくり”を目指し、あらゆる努力をすべきだと考えている。

より良い環境作り又集落の活性化の為であれば積極的に関わっていききたい。

役員の一員としてねばり強く全員を説得し協力体制を構築したい。

清掃

集会やイベントに出来るだけ協力し参加する

土地を貸すこと

農産物

農地の貸し出し

農地を貸す

問17② 計画に取り入れてほしい項目は？

売店をつくる

休耕田の有効利用

環境整備計画

長男（後継ぎ）にこだわらない、オープン化した参加資格

熊野神社周辺に地域の憩いの場として施設等の設置

現在の環境に適応しない土地利用の規制

今より、多方面から住まないこと

集落全員が参加できる行事の開催（祭り、運動会等以外のコミュニケーションのとれるもの）

市民農園をオープンさせたい

外部との交流

農産物の直売

問23① 下上津の好きなところ

自然がたくさん残っている、静かなところ

緑が豊かである

自然がたくさん残っている、書道・大正琴・梅花等でコミュニケーションがとれている

良い意味で皆さん人がいい

田畑が残っている、静かである

四季がちゃんとあるところ

冬は寒い夏は涼しい、三田市がすぐなので買い物には困らない、野菜や米には困らない

秋祭り、神楽が伝承されている、葬式をお互いに助け合っている、集会のほとんどが集会所でされるので家に集まる事が少なくて気楽であるところ

神社とその周辺

子供ののびのびと遊べる場所

上津台により人口が増えてきてにぎやかになった

空気がきれい、何も無いところが好き

比較的緑がきれい、道が整備されている

風景が良い、緑が多い、水がきれい

空気が良い、緑が多い、水がおいしい

連なった田園風景、風が渡る七月の田んぼ風景

自然がまだ残っているところ

水がきれい、風景が良い、緑が多い、静かなところ

静かなところ、クーラーがあまり必要ないところ、水道の水が飲める

のどかなところ

人間関係、静かな所、天災が少ない

空気がおいしい

静かな所、空気がおいしい、空（特に星）が美しい

静かな所、山、川、田の調和

熊野神社周辺、官生池周辺、松林寺周辺

田んぼ

田舎の風景

緑が多い、静かなところ、災害が少ない

少し残っている自然、のどかなところ、子供たちの元気の良いところ

季節がよく解るところ、田園が多く静かで良い

神社、春日谷田園風景、狩俣池周辺

工場などから離れており空気が良い。山々の眺めが良い。

自然が多い、近所付き合いがある

散歩をしていて田んぼを通る風が気持ちよく、三田の方向を見た時の風景が好き

山が美しい、田んぼがある、ゆったりしている

細い道がくねくねとあるところ。森、木、お墓のあるあたりの山のどかな田園風景。人々の親切さ、やさしさ、あたたかさ。
山々の緑が美しく静かな田園風景、人々の純朴さ
田園風景が見られのんびりしている、近くに山があり景色がきれい
静かなところ、緑が美しい、人間関係
男女関係なく誰とでも話をし、明るい人間関係が良い
地元の人との交流が盛ん、市街地に近い
静かなところ、比較的道路が整備されている、道路がすいている
比較的静かである、村の家並みが良い、大阪・神戸に適当な距離である
空気がきれい、水がきれい
人間に人情味がある

問23② 下上津の改善してほしいところ

買い物の便が悪い、交通の便が悪い
交通の便が悪い、駐在所が移転したこと、買い物の便が悪い、葬儀の手伝い・婦人会の活動を軽減して欲しい
川が汚い
まだまだ男社会であるところ
道路の整備、交通の便が悪い、婦人会を無くす
個人の自由のない人間関係
交通の便が悪い、お店が無い、街灯がない
農業用水路の草が生えっぱなしである
生活排水が川を汚染している、交通の便が悪い、夏祭りの日が決まっていて参加しにくい、また祭りの内容がよくわからない
集会でやたらお酒を飲むこと、農薬の散布（噴霧機）、農会などの役員にほ場整備など都合の良いふうになっている、犬の糞の後始末
話し合いの時もっと若い人の意見も取り入れて欲しい、話し合いの時にお酒を飲むのをやめてほしい、秋祭りはもっと子供が主になるようにしてほしい
行事や会合にもっと広い意味で参加できるようにしてほしい
ホタルやカブト虫がいなくなった、水や空気が汚くなった
女性や老人の意見が反映されるようになればよい
水が汚い、憩いの場がない
交通の便、買い物の便、病院が近くにない
もっと緑を増やし、川をきれいにしてほしい
会議中禁煙にする、常会の会食の飲酒を少なくする
手入れされなくなって荒れ放題の共有林の下草刈り

中国道の騒音

ゴミステーションをもっとたくさん設けてほしい

交通の便が悪い、虫が多い

不便なところ

交通の便が悪い

交通の便が悪い

道路の整備、車が通った時の振動、ニュータウンができた後の人間関係が心配

買い物の便が悪い

高速道路の騒音、農道が狭いのに車がスピードを出すこと

河川の草刈が必要

街灯が少ない

葬儀を公民館で行なう、葬儀の簡素化、都会では行政が行なうことをボランティアでやっている

前述の三周辺の整備を行い、住民の憩いの場として桜の植樹などして欲しい。街灯の設置。

近くに病院が必要、買い物、交通の便が悪い

医療施設の不足

交通の便が悪い、昔の田舎の近所づきあいがなくなった

交通の便が悪い

交通の便が悪い、派出所が遠い、道が狭い所がある

コミュニケーションのとれる場がたくさん欲しい、川や山に動物などが戻ってこられるように

集落全体のことを考える人がほとんどいない

河川、歩道の整備

道路、川の整備。買い物の便が悪い。交通の便が悪い。学校が遠い。子供の遊び場が十分でない。

交通の便、買い物の便、生ゴミ

個人主義の人が多く、行事に対し非協力的である。

山々をこれ以上上げずらないで欲しい

街灯が少ない

コミュニケーション不足、他人に厳しい

スーパーがない

全員で強制的にすることが多い

近くに医者とコンビニが欲しい

犬の糞をなくして欲しい

県道の整備

里づくりをやめて欲しい、バスの便利が非常に悪い、買い物に不便、公園に木がない
中国道の騒音、バスの本数が少ない

買い物に不便、学校が遠い

犬の糞の後始末、都会と同じ様な自治会活動にしてほしい（はぶくべき集会、活動を
考えてほしい）、決め事の徹底（出来ない人がいるようなことは決めない）

交通の便

川が汚い、消火栓が少ない

交通の便、コンビニがない

道路拡張、溜池（すご池）のどろ水、長尾川の草刈、集会で飲酒すること

路線バスを作って欲しい

全て

自治会役員の世代交代、集会のあり様と開催数（多い）

考え方が保守的、町の改革が遅い、商業施設が少ない、近隣の町に比べて一番開発が
遅れている

問24① 集落内で保存したいところ

熊野神社（33件）、秋祭り（6件）、神楽（4件）、才の神様（2件）、道しるべが書いてある石（2件）、鎮守の森（2件）、松林寺、日歩が丘、高塚山の歴史、里山、集会所、長尾川、伊勢講、氏神講、行者講、高津甲、各溜池、神社周辺、古木、緑の木々

問24② 家に農業の後継者はいるか？

いる（48件）

いない（34件）

いることはいるがまだわからない（5件）

問24③ 下上津をよりよくする為には？

買い物する所をつくる

里づくりの役員に現役を退いた人等女性を増やしたらどうか

バスを増やしてもらう

ひとりひとりができることを協力する、村の利益になることを考える、都会との交流も考える、埋もれている能力を発掘する

上津台の人たちとの交流

田畑での人の集まりを大切にしたい

どう発展していきたいのか方向性をはっきりしていくべき

地域活動への女性の参加によって共に助けあう暖かな心が育っていけばよいと思う

若い年齢層がもっと積極的に活躍できる場・行事を考えていくべき

伝統行事を他地区にPRしていく

幹線道路の拡張と歩道整備

年7回の定例会に若者の出席率を高める努力。若年層、婦人層の活性化。

集落と上津台との調和

都会人と田舎人との融和が必要

公共交通機関の整備、道路の整備

自然

集落の人がもっと現実を見て全体のことを考えること

道路の整備をし、交通の便、医療施設、教育施設を考えて欲しい。

人間関係

交通の便をよくする

多数決決定

他のものをいれない

これ以上他の人は入れない

みんなで飲んだり食べたりする場所があればいいと思う。宮さんの駐車場に桜の木を植えて数年後には焼肉パーティをしてみてもは？

農業を中心とした考え方ではダメだ

約束事は絶対守るようにする

伝統は守りつつも新しい文化を取り入れる

河川を整備して水質の向上

長尾台南側の土地に工場誘致を行い、雇用の確保

若い世代を自治会に参加させるよう組織を変える

問24④ 数年後、数十年後に困ることは？

駅がないこと

高齢化社会になること

後継者がなくなる

子供が少なくなること

高齢化社会、若者の減少

若い夫婦が少なくなるのでは？

若い人がいなくなること

土を知らない人が多すぎる、季節を知らない人が多すぎる、汗を流すことを好まない人が多すぎる

過疎になる

農地はあるがそれを数年後使用することがない

作物を植えないで放置される田んぼが増えていくこと

人口の減少

高齢者が増える、上津台が出来たことよってのしわ寄せ（例えばゴミの不法投棄やペットを捨てたり）等

高齢化社会になること

老人の憩いの場

農業の後継者問題。秋祭りにおける「神楽」の奉納が継続できるか。

消防団員、神楽保存会の人員不足

少子化

子供の育て方しつけ方

老人施設がないこと

秋祭りの保存

他の人が入ってくること

神事は男の人のみなのでそのうち無理が生じないか？

高齢者には買い物が大変

若い者がいなくなる

一人住まいが多くなる

行事、会費

縁がなくなる

道路

道路

里づくりをすることにより家を建てたりすることが難しくなると思う。

田畑の管理

上津台の人達との日々の暮らしのギャップ

伝統行事の継承

少子化

秋祭りの存続

部落内に新しく居住者が来られる

若い世帯がそのまま住み続けてくれるか？

人間関係、部落協議費の徴収、役員の選出

松林寺の維持ができているか

数年後には老人ばかりの町になる

問24⑤ 里づくりについてあなたが取り組みたいことは？

子育て（親育て）支援、グループホームをつくる

ハーブ園などはどうか？

昔はどこにでもいたホタルやカブト虫をよみがえらせて観光地として発展させる。上

津台などでけずられた地に実のなる樹木を植えて六甲山のように自然豊かな街にする
ハーブを主体にした公園、レストラン、一際したホテルを建てる
近隣の鹿の子台、上津台の地域の人達と共に“心のかよう”人間関係が築かれる里づ
くりに取り組みたい。

自治会で管理する公衆用道路、溜池等に植樹を実施し環境整備を図る。集落の水源は
ゴルフ場内にあるので、地域での水質の再検査の必要性を感じる。

全集落が一致協力した共同体（営農、企業、商売等）を立ち上げ、コミュニケーション
の場のみでなく生活の糧となりうる集合体を作り安心して暮らせる地域を創りあげ
ることが必要である。

子供達との交流

川の水を美しく、ホタルが飛ぶ川になればいいと思う。子供が川遊びをしても危な
くない川。

溜池利用

国の政策の休耕田を全部貸したい

下上津の農業、地域活性化を図る為地域の立地条件を生かし、まずは現在の経営状態
（二種兼業）を見守りながら順次農業振興、生活環境の改善、整備を進めていく。

高齢者が家の中にこもらないで積極的な活動が出来るよう環境整備をすすめる
農業以外の働く所がない為、もっと労働力を町内で発揮できるようになればよい

下上津の農業について

問4② 下上津の農業についてどう思うか？

特にどうも思わない。他の地域と同じように思う。
田を大切にされていると思う
個人農業でなく全体で取り組む農業をしていくほうが良い
今の農業はムダが多すぎる。
昔より良くなっていると思う。
よくやっている
将来性がない。淋しい思いがする。

問7② どうなれば営農部会に委託するか？

健康である限り自分で行なう。現在の大型機械の更新時に農作等の一部を委託する。
体力的に農作業が出来なくなった時
自分で出来なくなった時
もとがとれれば
今の農機具が動かなくなった場合
作業が出来なくなり子供が農業をしない又は子供が委託を希望した場合
自分で農作業が出来なくなった時

問8② 今後購入したい機械名、購入時期

コンバイン、乾燥機。5年以内
乾燥機。H14
一般農機一式

問10 市民農園や特産物の生産についてのアイデア

全員が理解したうえで共同出資を行い、少しは営利を目的としたものでなくてはならない。現在は活性化の為にボランティア活動が主であり全員の理解を得にくいのがネックとなっている。
黒豆の枝豆をつくる、菊作り

問11① 営農部会の問題点

価格のこと、誰がするのか
営農部会を発足させても参加者は少ないと思います。定年退職後の田地の管理として農業を営む傾向があり、現在の農業政策が続く限り、農作物を生産し、販売するという意欲は出てこない。

資金集め

人事

ほとんどの農家がサラリーマンの現実で田植え、刈り入れの忙しい時期に自分の田以外まで手が回るのか？

出資金、利益配分、良きリーダー

問 1 1 ② 営農部会の解決策

収支のともなう営農部会の指針が必要であり、十分な論議を行い結論を見出していかなければならないと思います。

準備金の拠出（JA等による）

若い人でする

農地の維持管理を主体に考える様にする。

女性活動について

問4② 具体的に何をしたいか？

花で何かする

問5④ その他、取り組んでみたいこと

家庭農園での余り野菜についての処理をどう売るかというよりどう加工して野菜を無駄にしないかと考えたい。

ホタル、カブト虫の地方発送

絵本の読みきかせ

問8 特産物の生産について

農協の野菜市を参考にしていけばどうか？

花を作って欲しい。大量に咲けば皆の目にもとまると思う。

コスモス畑やれんげ畑、黒枝豆を作る。雑木林を整備して、剪定した枝やつるでリースや木工品（小物）、ドライフラワー用の花や木（ユーカリやレモン等）を作る。

能力と労力が必要だと思う。協力したいと思う。

特産品を日本でまず作られてないモノにする。

花畑にして観光地にする。

住んでいる人達の意識を変えていくことが大事

より良い酒米、良い水を使って良い地酒

くだもの（ぶどう、なし等）の生産

問9 里づくりについての意見

高齢でも元気に農作業等されている方等の女性の会でも作って、女性の意見や行動がおこせればよいと思う。

里づくりには気持ちのゆとりと時間のゆとりが必要だと思う。働く女性が増えている今、これ以上強制的な仕事は増やしてほしくない。積極的に参加できることを考えなくてはならないと思う。

年配の人の力が強くて今、実際に働き盛りの世代の意見が言いにくく、伝わらない。物品販売と休憩するところが一緒になった所を作る。小さくてもギャラリーなどに利用できるように部屋があればいいと思う。

大変な事業だと思う。家事と生活で大変忙しい女性がどこまで余裕を持って参加できるのか考えたい。また、家族がどこまで理解できるか、協力をお願いしたい。

兼業農家が多く、女性も働きに出ている人が多いのでいろんな事を計画されても人集め等、大変だと思う。

里づくりより婦人会や村の事、近隣の事、各個人の事、この下上津の人たちは協力をしてくれない。大きな集落ではあるが非協力的だと思う。

下上津婦人会会員が現在30人も参加されないのに里づくりといってもどうかと思う。地元の食材を使った料理を出すレストランを建てる。

里づくりを成功させる為には月に何回という位の会合を持つ必要がある。農業の合間、労の合間などといっていたのでは前進しないだろうと思う。

他の地域での成功例等聞いてみたい。何ができるかわからないし、仕事をしている人も多く、その中で何ができるかというのは難しい。女性会の活動も嫌がる人が多いので負担が軽くないと動かないと思います。

下上津アンケート12～19歳対象

問7① 保存したい行事名

秋祭り
全て
秋祭り
秋祭り
神楽

問7② その理由

一番皆が参加しやすいから。
コミュニケーションをとれるから。
古くから続いている、獅子舞をはじめとする行事があり、神楽も続いており、各地から関心の目をさらに向けてもらいたい為。
昔からやっている行事なので。
下上津特有の行事だから。

問8② 参加したことがある行事名

祭り、運動会
子供みこし、子供会旅行
運動会
とんど祭り
熊野神社秋祭り
秋祭り
廃品回収
町民運動会
町民運動会
祭り
秋祭り

問10 企画してみたいイベント

野外ライブ祭
観光地になれる何かを生みたい。若い私たちがもっと活気ある町にしていきたい。

問12① 下上津の好きなところ

都心に近い、静かである、空気がきれい

景色がきれい

涼しいところ、大きな音を出しても怒られない

畑、田んぼがたくさんあって自然的である

自然が残っている、場所が広い

山がある、田んぼがある

周りが静かである、空気がいい、特に不便でもないところ

長尾小学校。会う人会う人が会釈やあいさつができてコミュニケーションがとれる。

アトピーやあせもが治る井戸水がある。川はきれいではないが少し前はエビがいた。

田んぼがある。緑がいっぱいある。町と違って「いなか」という感じが好き。

神社の祭りが大切にされているところ

人が少ないところ、街じゃないところ

問12② 下上津の改善してほしいところ

交通の便が悪い、医療機関が少ない、ショッピングセンターがない

店が少ない

駅がない、蚊が多い、TV大阪が映りにくい

街灯が少ない

バスなど交通の便がない

買い物の便

街灯が少ない

交通の便。街灯が少ない。コンビニがない。山が切り開かれ住宅地になってきた事がさびしい。

コンビニがない。交通の便。小さな子供が安全に遊べる所がない。

交通の便が悪い(バス)

問13② 下上津に住みつづけた理由

名物はないが住み慣れているから。

緑がいっぱいあるから。

街はあまり好きじゃないから。

問13③ 下上津に住みつづけたくない理由

一度くらい都市に住んでみたいから。

問18② 農業をしたい理由

なんとなく

問18③ 農業をしたくない理由

ミュージシャンだから

知識がない。するなら真剣勝負がいいから。

農業というものにあまり興味がない。

土にさわりたくない。

問21 お母さんの仕事をどう思うか？

いいと思う。

いいと思う。

尊敬している。

いいと思う。

大変だと思う。良くがんばっていると思う。

楽しそうにしているので良いと思う。

何とも思っていない。

専業主婦ではなく、働きに出て自分の楽しみを持って欲しい。一度きりの人生だから
したいことをしないともったいない。

専業主婦の人生を毎日過ごしているのはもったいない。自分のしたいことがあるはず
だから働いてもいいと思う。

何も考えていません。今のままで良いです。

普通のことだと思う。

何も思わない

いいと思う。

問23 お父さんと農業についてどう思うか？

大変だと思うし、尊敬している。

自分の家で育った野菜やお米が食べられるので良いと思う。

何とも思っていない。

特に何もありませんがちゃんと手伝いはしたいです。

田んぼってじゃまやなあ。

何も思わない。

問24 下上津をよりよくする為にはどうしたらよいか？

獅子舞をもっと広めて地区の名物にして欲しい。上津台もできたことだし、盛大なイ

ベント等をやったらどうか。

近所の人たちと仲良くしたり、良く話し合うことが大切ではないでしょうか？

夜、明かりが少なくて危ない、携帯電話の電波が悪い、駅が遠すぎる。

私は、里づくり計画など知らなかった。町全体に、こういう企画があったのなら、明確に知らせるべきではなかったのかと思う。町全体の問題だから、大人も子供も全員が少しでもよいから考えるべきだ。この企画を知らなかった人はまだまだいるはずだ。大人だけで考えようとしても、より良い里にするなどできるはずもないだろう。小学生にも、「この町のすき、きれいな所」のアンケートをとるだけでも十分な資料になるはずだ。里づくり協議会の方にはもっと本気になって欲しい。町民にアンケートをとって欲しい。それが一番良い方法だ。「長尾町」を兵庫県、関西にわかって欲しいのなら、活気ある行事、名所を作らなければならない。「良いまち長尾」としてテレビ、雑誌で紹介されたい気持ちはみんなあるはずでしょう！！そうすれば、「私のまちは、紹介されるほど、良い町なんや」と、町民は思うし、誇りに思うはずだ。そうでなければ、町民（若い）の心は離れていく一方だと思う。長尾の人も、長尾以外の人にも、“ええやん”と思ってもらえる「何か」を作りたい。自分の町を誇りに思いたい。「何か」を見つけるためにも、協議会の人にはあらゆる世代に、アンケートを頻繁にとることが必要だ。

この町は見た通り、田舎で、緑豊かな町です。私はそんな長尾が好きです。ですが、あまり近くにコンビニがないので少し不便です。一つだけでもいいのでコンビニをつくってほしいです。また、この緑豊かな町をいつまでも大切にしたいと思っています。なのでゴミなど町に捨ててほしくないで、ゴミ一つおちていない美しい町づくりにしていったらなあと思います。

川がこれ以上汚れないようにして欲しい。田んぼや道端にゴミが捨てられないようにしてほしい。店が増えるのは構わないけれど、変な店ができないようにしてほしい。里づくりとか大げさだと思う。別にこういう田舎は貴重なものでも何でもないから、なるようになっていけばいいと思う。がんばって里づくりとかやりたい人だけでやればいいものと思う。